遠賀川源流の森づくりシンポジウム in 嘉麻

森の恵み
～今、私たちが忘れかけているもの～

基調講演

演題

『源流から河口まで：生命圏域からの発想』

講師

月尾 嘉男さん（東京大学名誉教授）

パネルディスカッション

テーマ

『農村を取り巻く水環境の変化：昔と今』

コーディネーター

坂本 栄治さん（近畿大学 産業理工学部 生物環境化学科　教授）

パネラー

月尾 嘉男さん（東京大学名誉教授）
古野 隆雄さん（全国合鴨水稲会世話人代表）
能美 俊夫さん（福岡県林業研究グループ連合会会長）
原口 公子さん（北九州市環境局環境科学研究所主幹）
森　 裕治さん（遠賀川源流の森づくり推進会議会長）

絵画コンクール表彰・展示

入場無料 要事前申込
※詳しくは裏面をご覧ください

日　時 2008年 3月16日(日) 13:00～16:45 12:30(開場)

会　場 嘉麻市嘉穂総合体育館
嘉麻市上西郷1482-1

※公共交通機関がございません。お車でお乗り合わせの上お越しください。

主催：遠賀川源流の森づくりシンポジウム in 嘉麻実行委員会
（遠賀川源流の森づくり推進会議、国際ソロプチミスト飯塚-嘉穂、嘉穂ライオンズクラブ、NPO法人遠賀川流域住民の会、嘉飯山森林組合、福岡県、嘉麻市）

後援：農林水産省九州農政局、国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所、福岡県教育委員会、水土里ネット福岡、飯塚ロータリークラブ、嘉麻市教育委員会、嘉麻市森林・林業・林産業活性化促進議員連盟、北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、芦屋町、遠賀町、水巻町、鞍手町、小竹町、桂川町、糸田町、大任町、川崎町、香春町、添田町、福智町、赤村、北九州市水道局、NHK北九州放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送、西日本新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、朝日新聞社

お問い合わせ 遠賀川源流の森づくりシンポジウム in 嘉麻実行委員会事務局
〒820-0392　福岡県嘉麻市大隈町733　嘉麻市役所嘉穂庁舎　農林整備課林務係内
TEL0948-57-3104 FAX0948-57-4020　（担当：中島、山口）

遠賀川源流の森づくりシンポジウム in 嘉麻

森の恵み ～今、私たちが忘れかけているもの～

森は日々その表情を変えていきます。新緑に覆われた季節が過ぎて、やがて紅葉を迎えます。落ち葉は朽ちて土壌を肥やし、冬に降り積った雪は水の源となり、やがて私たちの生命になくてはならない『命の水』になります。
森に行ってみること。 森で深呼吸してみること。 森の恵みを知ること。 森を守り育てること。
さあ、もう一度、森と共に暮らしてみましょう!

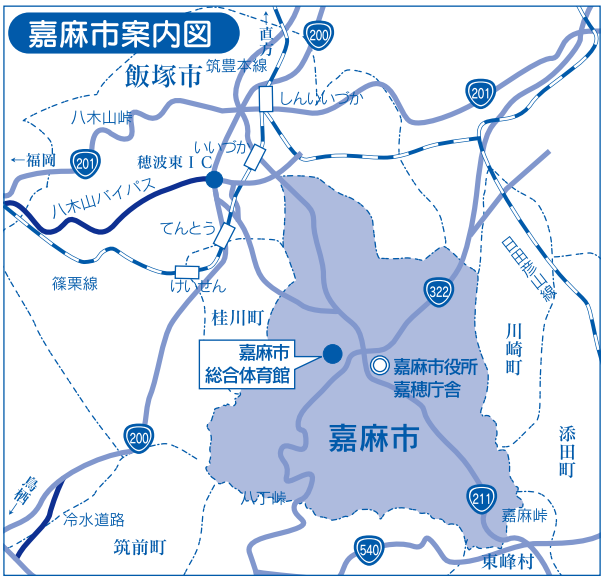
基調講演講師

月尾 嘉男さん（東京大学名誉教授）

1942年生まれ。東京大学工学部卒業。名古屋大学教授、東京大学教授などをへて、2002年より総務省総務審議官。2003年辞任。専門はメディア政策。著書は『鄙には稀なる』『未来フロンティア紀行』『地球共生』『地球の暮らし方』『ヤオヨロズ日本の潜在力』『縮小文明の展望』など。趣味はカヤック、クロスカントリースキー、登山。現在、TBSラジオ系「森本毅郎スタンバイ：日本全国8時です」やテレビ朝日系「報道ステーション」のコメンテーターとしても活躍中。

プログラム

12:30～ 開場
13:00～ オープニング映像～**水からのメッセージ**～
メッセンジャーは鮭とC.W.ニコルさん
13:15～ 開会
13:25～ 基調講演
『源流から河口まで：生命圏域からの発想』
月尾 嘉男さん（東京大学名誉教授）
15:05～ 絵画コンクール表彰
15:30～ パネルディスカッション
『農村を取り巻く水環境の変化：昔と今』
16:45～ 閉会



会場：福岡県嘉麻市嘉穂総合体育館
嘉麻市上西郷1482-1

コーディネーター

坂本 栄治さん（近畿大学 産業理工学部 生物環境化学科 教授）

1940年生まれ。九州工業大学卒業後、九州大学助手を経て、昭和42年から近畿大学（飯塚市、昭和41年開学）に勤務。環境無機化学を専門にし、旧炭鉱から流れ出る坑内水（赤水）や、その影響を強く受けている遠賀川の水質特性を調査・研究し、その対策を検討している。「環境はフィールドだ」を合言葉に学生諸君と遠賀川流域一帯を這いずり回り、筑豊の水環境保全に情熱を注いでいる。

パネラー

月尾 嘉男さん（東京大学名誉教授）

古野 隆雄さん（全国合鴨水稲会世話人代表）

職業：百姓。1950年福岡県生まれ。九州大学農学部卒業後、完全無農薬有機農業に取り組む。有機農業歴、30年。合鴨水稲同時作、4.2ヘクタール。露地野菜、1ヘクタール。自然卵養鶏300羽。合鴨ヒナ、4000羽。百姓百作、生産直売。全国合鴨水稲会世話人代表。2007年9月九州大学より「アジアの伝統的アヒル水田放飼農法と合鴨水稲同時作に関する農法論的比較研究」で博士号を取得。主な著書に『合鴨ばんざい』『無限に広がる合鴨水稲同時稲作』農文協などがある。

能美 俊夫さん（福岡県林業研究グループ連合会会長）

1951年北九州市八幡西区に生まれる。福岡教育大学卒業後、遠賀郡水巻町、八女郡上陽町にて小学校教諭、県立学校で教諭を経て、北九州市の実家にUターンし、農林業を継ぐ。現在、やはた有機野菜研究会代表、福岡県林業研究グループ連合会会長。

原口 公子さん（北九州市環境局環境科学研究所主幹）

北九州市役所に入職以来、環境局、水道局において主に大気、水質等環境分析を担当してきた。水道局在籍中に、北九州市の主要水源である遠賀川の浄化について公私ともに活動を開始した。その他、北九州市を中心に植樹・里山活動・環境学習等に関する市民活動を行っている。

森 裕治さん（遠賀川源流の森づくり推進会議会長）

1962年、嘉穂町馬見（現嘉麻市）生まれ。高校を卒業後、農協に就職。27歳で脱サラし観光果樹園を始める。94年に住民団体「嘉穂町まちづくり委員会」の「源流の森づくり部会」の会長に。自然と農業の深い関わりを感じ、97年、「遠賀川源流の森づくり推進会議」を立ち上げ、会長として、また、嘉麻市の「森づくりの顔」として活動の中心的役割を担う。

下記申込書にご記入のうえ、FAXにてお申し込みください（先着順）
遠賀川源流の森づくりシンポジウム in 嘉麻 実行委員会事務局 **FAX 0948-57-4020**

遠賀川源流の森づくりシンポジウム in 嘉麻 **申込書 兼 参加証**

ご住所		
ご参加者名（代表者名）	団体名	計　名
ご職業　□会社員　□公務員　□自営業　□農業　□団体職員　□学生・生徒　□その他		
TEL	FAX	

□申し込みいただいた方の個人情報は、当シンポジウム以外の目的には使用いたしません。

※本申込書が、参加証となりますので当日忘れずにお持ちください。